

目次

1面 第37回千葉県PTA連絡協議会
研究大会・懇親会

2面 知ろう/話そう/PTA / 2024
第79回指定都市PTA情報交換会 熊本市大会
神谷市長へ教育予算拡充を要望

3面 第45回市P連バレーボール大会

4面 区P連この1年を振り返って
令和6年度表彰 おめでとうございます
事務局移転のお知らせ
編集後記

市P連 CHIBA ちば



ホームページ

千葉県PTA連絡協議会

検索

第86号

令和7年3月3日発行

発行

千葉県PTA連絡協議会
〒260-0026 千葉市中央区千葉港2-1
千葉市中央コミュニティーセンター5F
TEL 043-245-5863
印刷 (株) 集 賛 舎

第37回千葉県PTA連絡協議会 研究大会・懇親会

令和7年1月25日(土)、
TKP東京ベイ幕張ホー
ルにて第37回千葉県PT
A連絡協議会研究大会が
開催されました。



全体会では、神谷市長をはじめ石川議長、鶴岡教育長より、心あたたまるご祝辞を頂戴し、続いて植草会長が大会スローガン「育もう 子どもの心に夢と希望と優しさを」の心にも夢と希望と優しさを」の

大会宣言決議文

ここ数年来、コロナ禍を契機に社会は大きく変わろうとしています。人と人とのつながりが希薄化し、PTA活動にも大きな影響を及ぼしています。また、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わり、子どもたちが様々な危機に直面していることです。ネットやSNSの利用に伴い子どもたちがいじめや犯罪に巻き込まれる危険、子どもたちの命を脅かす凶悪犯罪や交通事故の増加、貧困や児童虐待・ヤングケアラーなどの家庭が抱える問題、地震や豪雨などの相次ぐ自然災害など、子どもたちの健やかな成長を心から願う私たちPTAにとっては、由々しき状況です。

このような状況だからこそ、家庭・学校・地域が一体となって、危機意識を持って、これらの事態に対峙していかなければなりません。私たちPTAは、子どもたちが家庭・学校・地域において、安全で楽しい生活を送れるように力を尽くしていかなければなりません。そのためには、今起きている社会現象を正しく認識できるように、保護者としての資質を向上させるとともに、PTAとしての組織のつながりを今一度強めていくことが重要だと考えています。

大会スローガン「育もう 子どもの心に夢と希望と優しさを」のもと、子どもたちが安全で楽しい生活を送れるように、PTAとして最善を尽くすことを宣言し、次のとおり決議します。

決 議

1. 家庭・学校・地域が互いに連携し、心身ともに健全な子どもを育むPTA活動を推進します。
1. 子どもたちが安全で安心して成長できる教育環境の整備・充実に向けたPTA活動を推進します。
1. 不測の事態においても安心して充実したPTA活動が営めるように、活動しやすい環境づくりを進め、会員の資質と連帯意識の向上を推進します。

令和7年1月25日

第37回千葉県PTA連絡協議会研究大会

「教職員全員参加の事業説明会開催」「動画を作る際には役員以外にサポートを募集」「児童用タブレットを募集」「児童用タブレット端末を使ったクラス対抗クイズ」「児童用タブレット端末を使った生活を送れるように、PTAとして最善を尽くすことを宣言し、大会宣言決議文は採択されました。

事例発表では、鶴沢小学校PTAより「コロナに負けない！PTA活動」学校全体を一つに！つるの子クエストの軌跡」を提案いただき、コロナ禍においてバザーなど飲食を伴うPTA行事を行うことが難しかった中で、配信を中心にした今までは異なる事業に取り組んだ過程を報告いただきました。

より「コロナに負けない！PTA活動」学校全体を一つに！つるの子クエストの軌跡」を提案いただき、コロナ禍においてバザーなど飲食を伴うPTA行事を行うことが難しかった中で、配信を中心にした今までは異なる事業に取り組んだ過程を報告いただきました。

「教職員全員参加の事業説明会開催」「動画を作る際には役員以外にサポートを募集」「児童用タブレットを募集」「児童用タブレット端末を使ったクラス対抗クイズ」「児童用タブレット端末を使った生活を送れるように、PTAとして最善を尽くすことを宣言し、大会宣言決議文は採択されました。

「手集金を続けていく」「コンビニなどのデジタル集金を取り入れる」「収納代行サービスを以前から取り入れている」「市P連が進めているデジタル集金を検討中」「入学時点で6年分の支払いを検討中」など、様々な学校がありました。

本情報交換会はコロナ禍を経て、PTA活動を振り返り、また実情に合わせて今後どのように活動を行っていくかを考える良い機会になったのではないのでしょうか。情報交換会に引き続き行われた懇親会では、齋木生涯学習部長、栗和田小学校長会長をはじめとする8名のご来賓をお迎えしテーブルを越えての和やかな会となりました。



「バザーを復活させた」「リサイクル(制服等)のみに限定して行う」「キッチンカーを導入した」など、活気を取り戻しつつある半面、飲食のアレルギーの心配、一般参加によるセキュリティの心配など、PTAが縮小しつつある中で、コロナ前のようにイベントをやるかどうか、PTA役員の負担と子どもたちに何を提供したいのかという目的を今一度考えるきっかけにもなっているようです。

「手集金を続けていく」「コンビニなどのデジタル集金を取り入れる」「収納代行サービスを以前から取り入れている」「市P連が進めているデジタル集金を検討中」「入学時点で6年分の支払いを検討中」など、様々な学校がありました。

と会長が面談しているという学校がある一方、なり手が居ないため、役員だけ残して広報やベルマークなどはボランティアを募集する、というように少ない人数にしていくように組織を変えていく学校もあるようです。

また、「役職は一応おいているが皆で出来ることを割り振って実行している」「やる人は限られていて同じ人に集中し、やらない人はずっとやらないなどの不公平感を無くすために特典を用意している学校

全員加入が当たり前だった時から様々な変化が起きているなかで、不公平や負担の違いを感じる事が少ないよ



知ろう・話そう・PTA・2024

2024年6月28日から29日に千葉市生涯学習センターで「知ろう・話そう・PTA・2024」が開催され、千葉市内の特別支援学校1校、小学校14校、中学校9校から46名のPTA役員が参加しました。参加者は5〜7人のグループに分かれ、PTA活動や各校が抱える課題について話し合いました。

近年、PTAを廃止する学校や保護者会に変更する学校も増加しています。PTAは任意加入のため加入しない家庭が増え、共働き世帯の増加で会員の脱退や役員負担が問題となつていきます。会費は支払うが役員は避けたい保護者も多くなつていきます。

こうした背景を受けて、各学校では活動の見直しが進み、広報紙の廃止やデジタル配信、オンライン会議など効率化の取り組みが行われています。PTA会費のデジタル集金も進んでおり、作業の効率化が



図られています。児童名簿作成負担や集金率の低下など課題も残っており、今後は更なる工夫が求められています。

バザーに関しては、地域住民を含めて通常開催に戻す学校がある一方、縮小開催や代替行事を選択する学校もあり、それぞれの学校で工夫が見られます。参加者からは「他校の成功事例を参考にできた」「PTA活動が楽しく感じられるようになった」といった感想が多く寄せられ、同じ悩みを抱える学校同士での情報交換が有意義だったと評価されました。他校の意見やアイデアを取り入れながら、今後のPTA活動が改善されていくことが期待されています。

第79回 指定都市 PTA情報交換会熊本市大会

令和6年9月12日(木)・13日(金)に、「かけはし」子ども・保護者・学校・地域・・・そして未来へ」をテーマとした第79回指定都市PTA情報交換会熊本市大会に参加しましたので報告します。



本大会は、指定都市間の連携を図ると共に、その解決の方向性を検討することを目的とし、熊本地震や熊本市南部を中心とした豪雨災害の経験を踏まえ、お互いがつながることの大切さが再認識され、子どもたちの今と未来への「かけはし」となるような活動を考える機会とする趣旨で開催されました。

千葉市からは次回開催地実行委員長の三谷顧問他3名が参加しました。

1日目は、第1分科会(組織・運営)「PTAのあり方」、第2分科会(研修活動)「防災」、第3分科会(地域連携)「地域学校協働活動とコミュニティ・スクール」の一体的推進」の4分科会(広報・情報活動)「ICT活用」に分かれて、それぞれのテーマに沿ったディスカッションに参加しました。

第1分科会では、PTAとして期待されている役割の大きさを認識することの大切さや、PTAにおける

危険管理をポイントに協議されました。

第2分科会では、地域防災の立ち上げの実例や、クロスロードゲームを通して、万一の備えの重要性に気づくことができました。

第3分科会では、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進」の目的や体制等の基本的な要素を整理し、期待される効果や実践事例などの理解を深め、課題や現状を共有することができました。

第4分科会では、AI等の進化したICT活用の現状と課題について情報交換を行い、PR動画制作を通じて、動画編集体験や視聴者の反応を知ること、実践的な学びを行うことができました。

2日目は、熊本市立中学校校長の田中慎一朗氏による記念講演がありました。「SOSのカタチ」という演題で、子どもたちからのSOS「援助救援」のカタチが社会環境の変化と共に

大きく変わってきている。術を用いた取り組みを事とから、実際に熊本市内の例に、お話を聞くことが中学校で行ったデジタル技 できました。

神谷市長へ教育予算拡充を要望

子どもたちの健康、安全、豊かな学びのために

11月27日(水)、植草会長が「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉市連絡会」(14団体)の代表の皆様とともに、教育予算拡充を求める要請書を神谷俊一市長に提出しました。

9月に各校PTAの皆様にお願ひし、市P連に寄せられた署名は435筆、オンライン署名567筆、合計1002筆となりました。

市長へ、日頃から市P連の活動に深いご理解をいただいている感謝の意を伝えるとともに、更なる教育環境整備を要望いたしました。

PTAの皆様から集まった署名が大きな力となつて、子どもたちが学ぶためのより良い環境づくりに繋がっていくと思えます。

要望で実現した成果の例

- ☆老朽化した学校の大規模改造・外部改修・トイレ改修
- ☆スクールカウンセラー活用拡充 等

2024年要望内容(一部抜粋)

- 特別な支援を要する児童生徒を支援するための人的配置予算拡充
- タブレット活用等の学校ICT化に伴う施設整備・備品・消耗品・ICT要因の予算増額
- 学校設備の老朽化対策、給食室・体育館への早期冷暖房設備の設置、バリアフリー化 等



署名を神谷市長に提出する植草会長



「小・中学生総合生活保障制度」

(こども総合保険・自転車総合保険)

小・中学生総合生活保障制度は、千葉市PTA連絡協議会会員の皆様を対象とした制度として、多くの方々に加入いただいています。ご不明な点があれば、お気軽にお問い合わせください。

引受 保険会社 **AIG損害保険株式会社 千葉支店** ☎043-350-3170
千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGマンプライースト20F(営業時間 9:00~17:00 土・日・祝日・年末年始を除く)

推薦 **千葉市PTA連絡協議会**





第45回 市P連バレーボール大会



決勝
トーナメント

優勝



- ◆各区からの代表チーム
- 花見川区P連 幕張小学校
 - 稲毛区P連 稲毛小学校
 - 稲毛区P連 稲毛中学校
 - 中央区P連 葛城中学校
 - 生浜中学校
 - 若葉区P連 坂月小学校
 - 千城台南中学校
 - 緑区P連 土気小学校
 - 誉田東小学校



優勝

土気小学校



敢闘賞

生浜中学校



3位

柏井小学校



2位

千城台南中学校



PTAバレーボールに、少しでも興味をお持ちの方は、遠慮なく各校のバレーボール部へお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしております！

令和6年12月14日に、Yonasアリーナで第45回千葉市PTA連絡協議会バレーボール大会が開催されました。各区の予選を勝ち抜いた10チームのPTA選手たちが大会へと臨みました。

開会式では、千葉市PTA連絡協議会の植草会長の挨拶で大会がスタートしました。

大会は、二つの予選リーグで総当たり戦を実施。①グループには、稲毛中、坂月小、生浜中、幕張小、土気小の5チーム。②グループには、柏井小、稲毛小、誉田東小、葛城小、千城台南中の5チームの計10チームで上位4チームによる決勝トーナメントの椅子を争いました。

各試合、白熱の展開を見せながら、①グループから、土気小と生浜中が、②グループから、千城台南中と柏井小が、ベスト4に残り4強が出そろいました。

準決勝でも白熱した試合展開で、土気小と千城台南中が決勝戦に進出。昨年の大会では、千城台南中が制しており、若葉区の連覇がかかっている中、土気小が12対8と接戦を制して優勝！準優勝に千城台南中、三位に柏井小、敢闘賞に生浜中という結果となりました。

土気小は準決勝にて、試合終了時刻にもかかわらず5分近くもの長いラリーが続く、手に汗握る展開を見事制し、勢いそのままに一位の座を手に入れました。

今大会も、選手一人一人が笑顔を見せ、バレーボールを心から楽しんでいる姿が印象的でした。スポーツを通じて、新たな交流もあり、今後もこの様な、大人も楽しめるイベントを続けていきたいと考えています。

閉会式では、優勝した土気小に、ボールと優勝トロフィーが授与され、PTA選手一同、喜びを分かち合いました。



区P連 この一年を 振り返って



* 若葉区P連会長 菅谷 静香 *

今年度、若葉区P連の幹事校となり、右も左もわからないまま活動が始まりましたが、各校の役員の皆様のご協力のもと、大きなトラブルもなく活動をするこ

PTA活動については昨今色々と言われていますが、各校とも様々な形で子



* 中央区P連会長 橋本 一樹 *

今年度中央区P連の輪番校として着任し、早くも1年が過ぎようとしています。振り返ってみると、バレーボールの熱量がとても印象的で、会場一体感に格別なものを感じました。運営メンバーの皆様ありがとうございました。

昨今の急激な時代変化により、課題も多くありました。先



* 緑区P連会長 高橋 淳広 *

緑区P連の主な活動は、9月28日(土)に行ったバレーボール大会と11月3日(日)の緑区ふるさと祭りで行ったペットボトルロケットです。

バレーボール大会では、各試合とも白熱した試合展開が続き、私もキャプテンとして試合に参加しました。優勝は土気小学校で市P連の大



* 花見川区P連会長 加藤 さと *

今年度、初めて区のPTA会長を務めさせていただき、とにかく刺激を受けた一年間でした。

右も左もわからない状況でしたが、経験者様もあり、また、私同様にも初めてPTA役員になった方もいる中、特に理事会では各学校の現状報告がとても有意義な時間となりました。どんな事に悩み、どの様に改善しているかなど、問題点に真



* 稲毛区P連会長 牧野 英明 *

今年度、稲毛区PTA連絡協議会は、意見交換や協力体制の強化を通じてさまざまな課題に取り組みでまいりました。

多くの努力と協力のもと、より良い活動を実現するための貴重な経験を積むことができました。これにより、会員の皆様との絆が一層深ま



令和6年度表彰 おめでとうござります

千葉市社会教育功労者顕彰

12月7日(土)、千葉市生涯学習センター大ホールにて、第69回千葉市社会教育功労者感謝状贈呈式が開催されました。市P連からは青少年の健全育成とPTAの発展に尽力された功績により次の方々が受賞されました。(以下敬称略・順不同)

- 本間 武久 (生浜小)
- 深見 和美 (大巖寺小・蘇我中)
- 前田 佳寿子 (大森小・蘇我中)
- 坂本 敏也 (加曾利中)
- 真鍋 雅代 (誉田小・誉田中)
- 内山 隆史 (山王小)
- 吉田 忠弘 (千城台東小)
- 船木 綾子 (西小中台小・朝日ヶ丘中)
- 飯高 奈緒子 (朝日ヶ丘中)
- 萩原 利彦 (生浜西小)
- 廣田 美代 (生浜東小)



事務局移転のお知らせ

千葉市中央コミュニティセンターの改修に伴い、令和7年4月から3年間事務局を移転します。

移転先 〒260-0026 千葉市美浜区高浜3-3-1 旧高浜第二小学校跡施設「はまのわ」内

編集後記

市P連ちは86号より令和6年度広報委員会がお届けします。本紙の発行にあたり、ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。皆さまのお役に立てるような情報や市P連の活動を知っていただける紙面づくりを心掛け、5名で力を合わせて活動して行きたいと思っております。これからも引き続きよろしくお願いたします。